

平岡織染株式会社
Environmental report2016
環境報告書 2016

目次

1. ごあいさつ	3
2. 会社概要	4
3. 編集方針	4
4. 環境基本方針	5
5. 環境中期計画	6
6. 環境保全活動の歩み	7
7. 環境負荷の全体像	8
【事業活動における環境負荷】*2015年度実績	
8. 環境負荷低減への取り組み	9
【PRTR 対象物質への取り組み】	
【大気汚染防止への取り組み】	
【水質汚濁防止への取り組み】	
【二酸化炭素排出量削減への取り組み】	
【産業廃棄物削減への取り組み】	
9. 環境対応製品	12
【製品名：スクリーンメッシュシリーズ】	

1. ごあいさつ

"布の力"で未来が変わる。

平岡織染株式会社は布（繊維基材）の特徴と独自の樹脂加工技術をマッチングすることで、強さとしなやかさを併せ持つ多様な膜材製品を生み出してきました。

100年以上にわたる当社の開発実績から生み出された固有の技術は、今やさまざまな時代のニーズ、お客様のご要望に応え、未来のインフラ材料の創造に結びついています。

一方で地球への環境負荷軽減と循環社会の創造という課題に挑戦しながら、私たちはこれからも高機能製品の開発・設計に取り組んでいきます。

代表取締役社長 **平岡 義章**

2. 会社概要

名称	平岡織染株式会社
社長	平岡義章
資本金	48,438千円
売上高	9,248,354千円(2016年3月期)
創業	明治35年8月(1902年)
会社設立	昭和10年2月
本社	東京
支店	大阪
事業所	草加事業所(埼玉県)、滋賀ターポリン工場*(滋賀県)

*ターポリンは以下(タ)に省略して記載する。

3. 編集方針

【報告書の対象期間】

対象期間 2015年4月1日～2016年3月31日

【報告書の対象範囲】

本社、支店、2事業所(草加事業所、滋賀(タ)工場)

4. 環境基本方針

平岡織染株式会社は、繊維素材をベースに様々な合成樹脂と組み合わせることで、機能的で使いやすい製品を製造、提供しております。機能性や特性を重視する建築、土木、車輛といった産業分野やデザイン性や嗜好性が求められる店舗、スポーツ、レジャー用品など、幅広い分野でご利用いただいております。

私たちは、企業が成長し続けるためには、企業活動に伴って発生する環境への負荷を最小限に留めることが最も重要であることを認識しております。

事業活動、製品、サービスから生じる環境への負荷を的確に捉え、技術的そして経済的に可能な範囲で、目的・目標を設定し、汚染の予防と環境マネジメントシステムの継続的な維持・改善に努め、環境の保全と向上を図るため、次の施策を推進します。

1. 事業活動は環境、健康、安全に留意し、汚染予防に最善を尽くします。特に、製品の製造に伴い使用する化学物質等の取り扱い及び管理の適正化に努めます。
2. 環境に関する法規制及び、地方自治体との協定を遵守するとともに、自主基準、規定などを整備し、管理の一層の向上に努めます。
3. 省資源、省エネルギー、リサイクル、廃棄物の減量化などに積極的に取り組みます。
4. 環境に配慮した研究、開発、設計を行います。
5. 社員に環境教育を実施し、環境保全意識の向上に努めます。
6. 「環境基本方針」は、関連協力会社に周知すると共に外部からの要求に応じて提供します。

5. 環境中期計画

弊社では、環境に配慮した企業経営を充実させるため、2013年6月に第三次の中期計画を策定。2012年度の実績データを基準として、達成年度を2017年度と定め、次の二つの目標を掲げて、取り組んでおります。

【達成目標年度：2017年度】

二酸化炭素原単位排出量　：　3%削減

産業廃棄物原単位処分量　：　3%削減

また、草加事業所では2015年度から埼玉県地球温暖化対策推進第二次計画期間（2015～2019年度）がスタートしました。同期間における目標値は二酸化炭素基準排出量の13%削減であり、2015年度は約20%の削減となり、達成することができました。引き続き、二酸化炭素排出量の削減に努めて参ります。

6. 環境保全活動の歩み

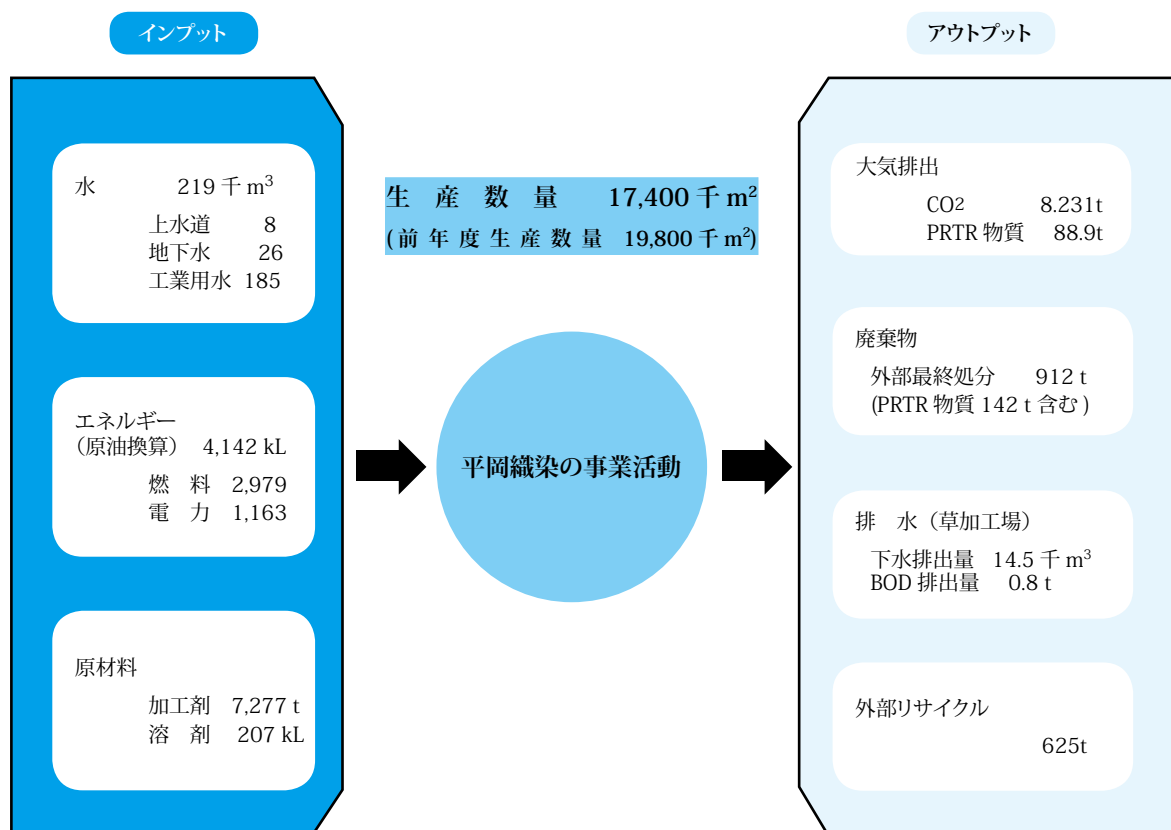
2002.12	滋賀（夕）工場が滋賀県の「大気環境負荷低減計画実施事業場」証明書受理
2003.03	草加事業所が埼玉県の「彩の国エコアップ宣言書」受理
2004.10	草加事業所にガスコージェネレーション（550kW）を導入設置、稼働開始
2006.08	草加事業所に蓄熱式排ガス浄化装置（150m ³ /分）を導入設置、稼働開始 ※ VOC 大気放出量の大幅削減に貢献
2008.11	滋賀（夕）工場の重油焚きボイラ 3 基を高効率のガス焚きボイラに更新し、同工場の重油使用を全廃
2009.03	滋賀（夕）工場に CO ₂ 排出量の削減のため、新熱処理機を設置
2009.04	環境への取組を強化するため、「環境連絡会議」を設置
2010.12	草加事業所の重油焚きボイラ 2 基を高効率のガス焚きボイラに更新し、全社の重油使用を全廃
2011.03	滋賀（夕）工場、新熱処理機の本格稼働開始
2012.05	滋賀（夕）工場、湿式電気集塵機（排煙処理装置）追加設置・稼働開始
2013.05	滋賀（夕）工場、脱臭装置新規設置・稼働開始
2014.10	草加事業所の蛍光灯全てを LED タイプにリニューアル開始

7. 環境負荷の全体像

【事業活動における環境負荷】 * 2015年度実績

弊社は、その事業活動において排ガス、排水、廃棄物等、様々な環境負荷の実態を正確に把握し、低減に努めています。

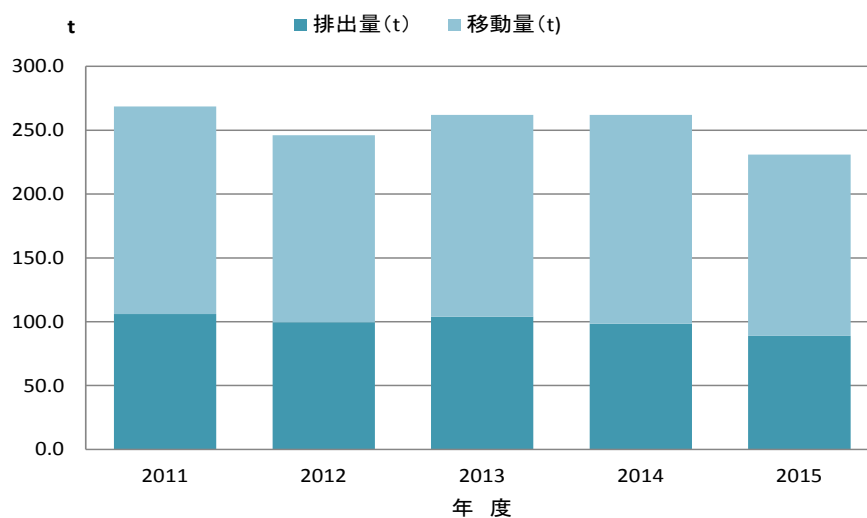
2015年度の事業活動におけるインプットとアウトプットは、下図のとおりとなっています。



8. 環境負荷低減への取り組み

【PRTR 対象物質への取り組み】

PRTR届け出排出移動量



2015年度は前年度と比較して排出量が約9.7%減少し、移動量が約13.2%減少しました。

【大気汚染防止への取り組み】

SO_x（硫黄酸化物）排出量は、ボイラ燃料の完全ガス化(A重油全廃)により、2011年1月からゼロとなっています。

ばいじん排出量も、都市ガスへの燃料転換による効果で、極めて低い水準で推移しています。

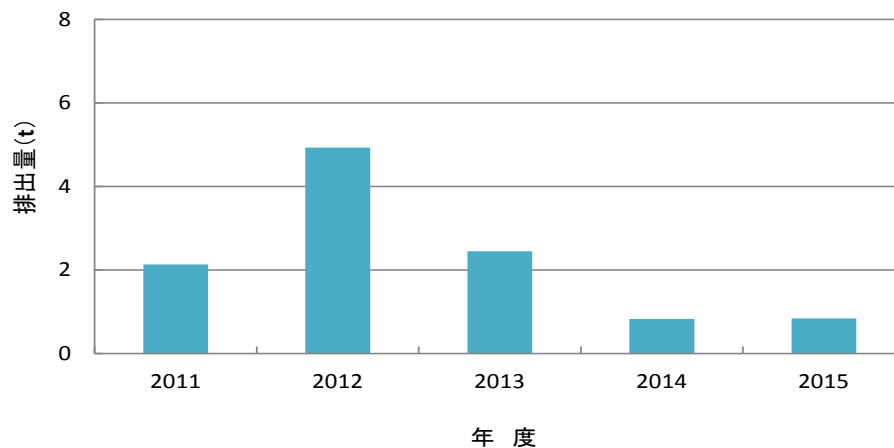
【水質汚濁防止への取り組み】

工場排水を行っているのは、染色を行っている草加工場のみです。工場排水を行っていない滋賀（夕）工場は水質汚濁防止法には該当しません。従って、対象となる草加工場のみ水質汚濁防止への取り組みを行っております。

排水が発生するのは主に染色工程で、長年にわたり、加圧凝集浮上方式による施設で処理し、公共下水道へ放流しています。

2014度は、綿帆布生産の外部委託に伴い染色排水量が激減したため、BOD排出量も極端に減少しています。尚、草加市下水道条例で定める下水排除基準に対しては適合しており、安定した水質を維持しています。

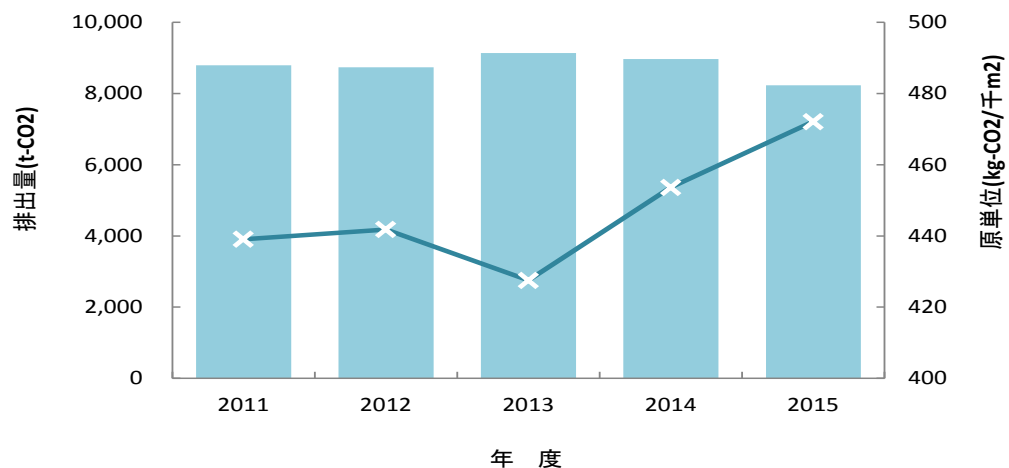
BOD排出量



【二酸化炭素排出量削減への取り組み】

2015年度のCO₂排出量は、前年度比8.2%減の8,231t-CO₂でした。然し、環境中期計画の「原単位排出量(生産量当たり)について、2017年度までに2012年度比3%削減」に対しては、6.9%増となりました。二工場の生産量が大幅に減少したことに伴い、生産効率が低下したことと、エネルギー消費量の多い製品の構成比率が増加したことが主な理由です。今後は更なる生産効率向上と、成果主義の省エネ活動を推進して、CO₂排出量の削減に取り組んで参ります。

二酸化炭素排出量

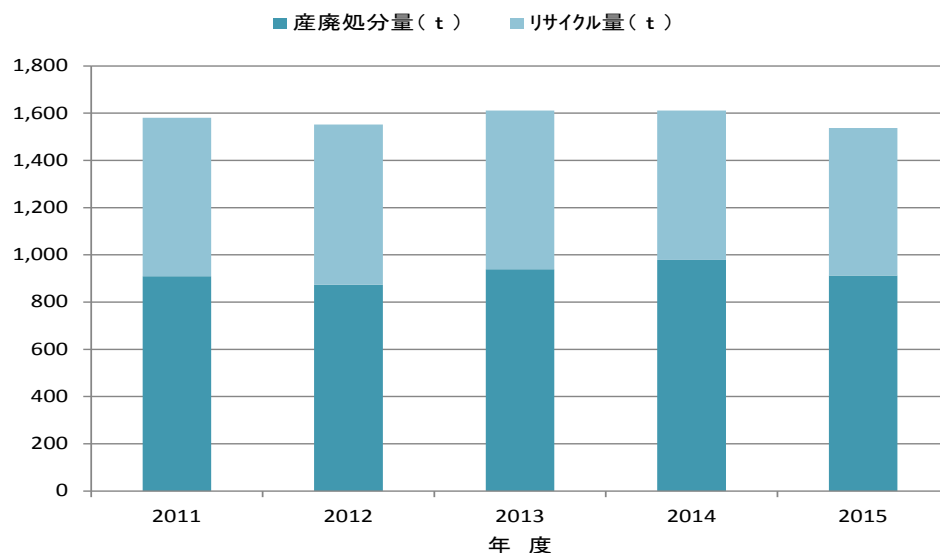


【産業廃棄物削減への取り組み】

2015年度の産廃処分量は、前年度比6.8%減の912tでした。但し、原単位処分量は、前年度比5.7%増の52.3kg/千m²となりました。

リサイクル率は2014年度39.3%と僅かに40%を切りましたが、2015年度は40.7%で再び40%台を超えました。

産業廃棄物量



9. 環境対応製品

【製品名：スクリーンメッシュシリーズ】

～ 紫外線・赤外線をあわせてカットし、涼しく明るい空間を実現できます。～

シャディスクリーン® 4000N

【用途】膜天井・スクリーン・シェード・吸音材

【特徴】すぐれた吸音性・デザイン性・縫製性・防炎・UVカット・RoHS指令適合

風紗®

【用途】スクリーン・間仕切り

【特徴】和調の外観・縫製性・防炎・UVカット・RoHS指令適合

ライトスクリーン® 2026

【用途】日除け・スクリーン・シェード

【特徴】軽量（重量220g/m²）・縫製性・UVカット・RoHS指令適合

★ 風紗® 施工例



スクリーンメッシュシリーズ

～紫外線を吸収・カットし涼しく明るい空間を実現～

シェディスクリーン® 4000N



用途 廣天井・スクリーン・シェード・吸音材

材質 基布：ポリエステル100% 樹脂：塩化ビニル (PVC)

特徴

- 吸音性**
N.R.C値0.68と高い吸音率を実現
- デザイン性**
タテ系・ヨコ系の自由な色の組み合わせにより
多様なデザインが可能
※別注色・別注巾(最大3m巾)はロット500mより承ります。
- 縫製性**
高周波ウェルダーでの縫製が可能



ホワイト/ベージュ
透光率：90%
UVカット率：99%



ホワイト/グレー
透光率：95%
UVカット率：99%

風紗®



用途 スクリーン・間仕切り

材質 基布：ポリエステル100% 樹脂：塩化ビニル (PVC)

特徴

- 和調**
短繊維を用いたからみ織りメッシュによる和調の外観
- 縫製性**
高周波ウェルダーでの縫製が可能
※別注色は2000mより承ります。



焦茶色
透光率：70%
UVカット率：74%



亜麻色
透光率：65%
UVカット率：72%

ライトスクリーン® 2026

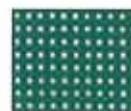


用途 日除け・スクリーン・シェード

材質 基布：ポリエステル100% 樹脂：塩化ビニル (PVC)

特徴

- 軽量**
重量220g/m²と軽量で取り扱い性に優れる
- UVカット**
フラットな外観により高いUVカット率を実現
- 縫製性**
高周波ウェルダーでの縫製が可能
※別注色は2000mより承ります。



プリディッシュグリーン
透光率：83%
UVカット率：83%



ベージュ
透光率：72%
UVカット率：86%



ブラウン
透光率：84%
UVカット率：84%



ネイビー
透光率：80%
UVカット率：80%



シルバー
透光率：80%
UVカット率：84%

●物性データ

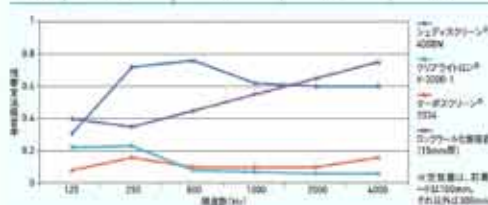
	幅 (cm)	長さ (m)	質量 (g/m ²)	厚さ (mm)	引張強さ	伸度 (%)	引裂強さ	防炎製品番号 (公財) 日本防炎協会
					(N/3cm)		(N)	
シェディスクリーン® 4000N	200	30	600	0.83	1550×1100	33×26	220×120	F-27244
風紗®	185	50	340	0.90	600×620	19×22	150×130	F-26161
ライトスクリーン® 2026	200	50	220	0.35	827×824	14×16	86×92	F-27122
JIS L 1096					JIS L 1096 A	JIS L 1096 A	JIS L 1096 C	

※上記データは測定値であり保証値ではありません。

●吸音率データ

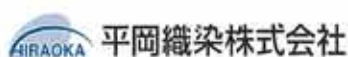
N.R.C.とは 250Hz、500Hz、1000Hz、2000Hzでの吸音率の平均値

周波数 (Hz)	シェディスクリーン® 4000N	クリアライトロン® V-2000-1	ターボスクリーン® 1034	ロックウール 100mm厚 (10mm厚)
N.R.C.	0.68	0.11	0.12	0.50
125	0.30	0.22	0.00	0.40
250	0.72	0.23	0.16	0.39
500	0.76	0.08	0.10	0.45
1000	0.62	0.07	0.10	0.55
2000	0.60	0.04	0.10	0.63
4000	0.60	0.06	0.16	0.75



注意事項

1. 本カタログに記載している製品は日本国内向けのもので、
2. 使用前に必ず品名・品番・色相・ロットNo.・規格を確認してください。
3. 保管は、高温・多湿を避け、冷暗で平坦な場所に置き、変形するような積み方はしないでください。
4. 長時間保管されていた製品は、使用前に物性低下の有無を確認してください。
5. 極低温・極高温向けには設計されておりませんので、これらの用途に使用の場合は必ず弊社までご相談してください。
6. 熱融着による接合の際は、臭気が発生することがありますので、必ず作業場を換気してください。
7. 高周波ウェルダで溶着する際は、溶着部分に導電性を有する物質が付着していると、まれにスパークを起こすことがありますので、ウェルダケーブル及び溶着材料の溶着部分に付着物の無い状態で溶着してください。
8. 縫い込みロープ、ハトメ部分の縫製時には必ず補強布を内側に当ててご使用ください。
9. 洗浄する場合は、中性洗剤を浸した柔らかいスポンジ等でふき取り、十分に水洗いし乾燥してから使用してください。
10. サンプルの色相は、出荷時の現物の色相と若干違いがある場合があります。予めご了承ください。
11. 透光差がありますので、同一製品には、同一ロットNo.の使用をおすすめします。
12. 廃棄される際は、下記の方法で処理してください。
(1) 産業物処理法、都道府県条例等に従ってください。
(2) 許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
13. 質問、問い合わせ、より詳しい資料が必要でしたら、代理店または弊社まで連絡してください。
14. 本カタログの記載内容は改善のため事前に予告なしに変更することがあります。



東京 〒110-0011 東京都台東区三ノ輪1-21-7 TEL. 03-3876-2111(代表) FAX 03-3875-5627
 大阪 〒541-0044 大阪府中央区伏見町4-2-14 TEL. 06-6209-7000(代表) FAX 06-6209-7011
 URL <http://www.targo-hiraoka.com/>



2016年7月印刷 250